



東近江市民クラブ

浅居 笑

Q 危機管理事案発生における支所の役割と支所長の権限について、  
①2月の大雪で積雪が多かった地域の状況と支所の初動対応は。  
②地域防災監の役割と権限は。

A ①今回の寒波では、愛東地区の山間部と永源寺地区の東部で多くの積雪がありました。特に永源寺地区の東部では、地域の自治会や協力業者によって除雪をしていただきましたが、除雪した雪の排出ができず、雪寒担当職員が中心となり、堆積した雪の排出作業を行いました。

支所の初動対応については、各支所で編成している雪寒配備態勢に基づき道路パトロールを実施し、積雪や路面凍結の状況に応じて協力業者への除雪依頼や融雪剤の散布などを行いました。  
②地域防災監は、市長直轄組織に位置付け、支所長が兼務しています。各地域のさまざまな危機管理事案に迅速かつ確に対応することを役割とし、危機事案における職員への指揮・命令を権限としています。



新政無所属の会

中村 和広

Q ネイチャーポジティブは、鈴鹿の山々から琵琶湖までの森里川湖を市域に有している本市においても非常に意義深いものであるが、  
①ネイチャーポジティブ宣言をする意義は。  
②(仮称)森の文化博物館基本計画で、どのように子どもたちの心の癒しなどを実現しつつ、生物多様性を満たしていくのか。

A ①環境保全の取り組みだけでなく、社会や経済活動も視野に入れ総合的に取り組んでいくべきものとして、本市の取り組みを内外に発信することで、企業をはじめとした多様な主体との連携を図り、環境政策の推進に寄与するものと考えています。

②市内には森を体験し、身近な自然や里山を知り興味を持ってもらう施設が複数あり、森と人が気軽に関わる場として事業を展開しています。これらと連携しながら、エコツーリズムや森の体験など、さらに一歩進んだ活動において、心の癒しや子どもたちの生きる力を育み、森と人とのつながりを再構築することにより、地域資源を支える生物多様性の保全につながるものと考えています。



東近江市民クラブ

西澤 由男

Q 産業用地開発事業選定について、  
①どのような業種を誘致しようとしているのか。  
②人口流入の受け皿となる長峰団地を活用するには、進行途中の事業を促進することが効果的と考えるが、見解は。

A ①具体的な業種は定まっていますが、県と連携しながら丁寧に企業誘致を進めていきます。  
②団地内の貫通道路の開通や診療所の充実が進むことは住民の利便性や防災対策に大きく寄与することから、団地内の住環境の充実が図られると考えます。

Q 大阪・関西万博のガリ版関連の展覧について、  
①出展の日時や場所、形態や内容は。  
②今回の出展で期待する効果や成果は。

A ①6月25日に関西パビリオンで出展します。ガリ版体験を蒲生地区まちづくり協議会が担当し、市はガリ版を紹介する展示や解説を担当します。  
②万博への出展により世界の人々がガリ版に触れ、日本の印刷文化の近代化に果たした役割の大きさを知ってもらうとともに、その発祥の地である本市の存在を広くアピールすることができると考えます。



東近江市民クラブ

西村 和恭

Q (仮称)森の文化博物館基本計画について、  
①フォーラムの開催や鈴鹿の森の多様性を体感できるイベントなどを通じて、計画の概要や意義を伝えていくべきでは。  
②企業や大学、研究機関との連携の可能性は。

A ①フォーラムの開催をはじめ、ケーブルテレビ、SNSや市広報紙など、あらゆる媒体を通じて、この計画が目指す目標や取り組みについて、広く認識していただく必要があると考えています。  
②本市を研究フィールドとして継続的に活動されている国の機関、森林総合研究所関西支所と今後の取り組みのさらなる推進を図るための協定を締結しました。また、すでに鈴鹿の森で研究や実験的な取り組みをされている大学もあり、加えて新たに研究フィールドとしての活用についての打診もあります。

鈴鹿の森の取り組みに対して、研究機関や民間団体などの注目が集まれば、森と人とのつながりを再構築するための方策など、さらに多くの専門的知見が集まり、活動への波及効果が期待できると考えています。



東近江市民クラブ

山本 直彦

Q 道路整備事業の進捗と今後の計画について、  
①御河辺橋架け替えを含む県道雨降野今在家八日市線道路整備事業は。  
②県道中里山上日野線道路整備事業(愛東外バイパス)は。  
③国道307号バイパス道路整備事業は。

A ①平成30年度から概略設計を実施し、バイパス区間においてルート案の決定を行っています。現在は用地測量や土質調査などが実施されており、道路整備を順次行う計画です。また、令和7年度の秋以降に御河辺橋の橋梁下部工事に着手されます。  
②昨年度から地元のバイパス推進委員会と協議を行い、ルート案の作成を進めています。現在は地形測量を行っており、今後は整備に必要な設計を実施する予定です。  
③令和元年に示されたルート原案が、今年度ようやく沿線8自治会の代表者会議でルート案として合意を得ました。現在は全線の地形測量を行っており、今後は整備に必要な設計を複数年にわたり実施する予定です。



東近江市民クラブ

和田 喜藏

Q 布引の森について、  
①令和6年度の利用者数は。  
②布引の森の魅力は。  
③布引の森のPR方法は。  
④今後の取り組みの計画は。

A ①本年2月末現在で3,637人です。  
②起伏を楽しめる遊歩道を巡ることで、この地域本来の里山の動植物を四季折々に楽しめます。また、これらの環境を生かしてさまざまなイベントを開催しており、自然観察会をはじめ初心者向けの山歩きや薪割り体験などの親子イベント、防災をテーマとした自然体験活動など、さまざまな体験ができることも魅力であると考えています。  
③SNSでの情報発信と公共施設でのリーフレットやイベントのチラシ設置などで周知に努めています。  
④起伏のある里山の環境を生かした活用を図りたいと考えています。市内にある森里川湖の多様で豊かな自然との連携を図ることで、布引の森でより深い学びや体験が提供できるように取り組んでいきたいと考えています。



夕暮



東近江市民クラブ

田井中 丈三

Q お米の振興と市内農業の基盤整備事業に対する農家負担の軽減について、  
①お米の食品としての健康への効果と、肥満との因果関係は。  
②お米の食品としての家計への効果は。  
③大中の湖干拓地や小中之湖干拓地の基盤整備事業補助率を国のガイドラインどおりにすべきと考えるが見解は。

A ①お米はパンや麺類に比べ脂質が少なく、食物繊維が多いため、体脂肪が増えにくい特徴があります。肥満はエネルギーの摂取量と消費量のバランスの悪さから生じるもので、お米を食べると太るといった認識は誤っています。  
②標準的なお茶碗一杯のご飯の価格は51円となり、カップ麺184円、菓子パン127円と比較しても経済的な食品であると考えます。  
③国の政策で整備されてきた経過や干拓農地の特殊性を十分に鑑み、防災上極めて重要な施設の整備更新事業においては、国が示す負担割合に基づき実施することを既に決定しています。



浪漫